



議会だより



一般質問に立った野村議員

6月定例会

六月定例会

町長行政報告 （加速化交付金事業ほか）	2P
教育長行政報告 （「くいしんぼマラソン」の継続ほか）	2P
総務教育民生常任委員会調査報告書 （町有財産の利活用）	3P
一般質問 （県開発本町の参画状況ほか）	4P
中学生コラム	
“池川中・仁淀中3年の想い”	5P・6P・8P・11P
高吾北広域町村事務組合報告（第2回定例会）	11P
コラム	
“石垣トマトハウス”・“紹介 仁淀川町身体障害者会”	12P・15P
Q&A（6月定例会）	14P
議長一口メモ！	16P



平成28年6月定例会 町長行政報告

熊本地震義援金300万円 加速化交付金事業ほか

ら、300万円の義援金を受け付け、県社会福祉協議会を通じ被災地に送りました。

【春の叙勲】

平成28年春の叙勲で、本町在住の、元岡山刑務所長の加藤三智氏が瑞宝小綬章を、元仁淀川町消防団副団長の桐山雄吉氏が瑞宝単光章を受章。心からお喜び申し上げます。

【近畿仁淀川会】

町出身者で組織する「近畿仁淀川会」の総会が、先月22日開催された。

総会後の交流会では、「ふるさと仁淀川町」の近況報告や意見交換などを行い、交流を深めるとともに、町行政の推進に一層のご理解とご支援、ご協力をお願いした。

【ふるさと納税】

本町のふるさと納税である「仁淀ブループロジェクト寄付金」の27年度の総件数は147件、総額は382万4千円で26年度の同期間と比べて寄付額は

若干多くなっている。

東京都が33件、高知県が14件、大阪府が13件、返礼品の数では、竹細工照明が75件、お茶製品が51件、ゆの森宿泊プラン11件が主なものとなっている。

少しでも多くの方に賛同をいただき、観光振興に結び付けていけるよう努力し、28年度は簡単な手続きで活用いただけるよう、インターネットサイトにてページを設けて納入できる仕組みを取り入れる。

【補正予算ほか】

今年度の「加速化交付金事業」では林業家育成事業を引き継ぎ、県と仁淀川流域6市町村での観光連携事業が採択されている。「推進交付金事業」は、池川コンニャクと石垣ハウスを活用した「小規模・多様型の雇用の場づくり事業」を計画し申請している。

一般会計補正予算の主なものは、仁淀総合支所新庁舎建設予定地の造成工事費1千万円。建築計画概要が固まり、用地造

平成28年6月定例会 教育長行政報告

全教職員の研修会を開催 学校と委員会の方向性の一致



成工事の発注が可能となったため、早期に着手したく計上した。

そのほか、訴訟代理委託料として、100万円を計上。これは、先月、高知地方裁判所須崎支部に、昨年の町議会においての発言で議員が提訴され、これを受け、国家賠償法の規定に基づき、町に対する損害賠償請求が提訴されたため。

現在の児童生徒数は、小学校が3校で154人、中学校が2校で94人。教員数は、県外研修中の者を含めて59人である。

4月1日には全教職員の研修会を開催し、教育大綱、教育振興計画、教育行政方針などを説明して、学校と教育委員会との方向性の一致を図るとともに、教育課題の解決に全力で当たることを確認した。

修学旅行は、長者・別府・池川の3小学校連合と、仁淀・池川の2中学校連合がそれぞれ5月中旬に修学旅行を実施し、和気あいあいとした報告を受けている。

6月11日から高吾地区中学校総合体育大会が実施され、仁淀・池川両中学校のソフトボール、卓球、女子バレーボール、池川中学校のソフトテニスに参加し競技が行われた。

結果は、ソフトボールの池川と卓球男子団体の仁淀が準優勝し、県体出場を決めた。この他にも、両校の卓球女子団体と男

女の個人5人、池川のバレーボールとソフトテニスの個人1組、仁淀のソフトボールが、7月22日開催予定の県体への出場を決めている。

今年は郷土出身で「財界のナポレオン」と呼ばれた金子直吉の生誕150年を迎えることから、その偉業をたたえる記念行事の実施を目指して、5月18日に実行委員会が結成された。記念行事は、しもなの郷で、10月10日に基調講演などを行う計画で進んでいる。

また、昨年合併10周年事業として実施し、好評を得た「くいしんぼ馬拉ソンin仁淀川町」を継続開催する。今年は、町体育会などが中心となって実行委員会を立ち上げた。開催日は10月2日を予定しており、7月15日から参加者の募集を開始する。

イベントは町民の協力が、大きな成果につながる。開催までに十分に宣伝を行って、町の活性化のため、仁淀川町挙げての取り組みにしていこう。

総務教育民生常任委員会調査報告書

町有財産の利活用

委員長 竹 本 文 直

1. 調査事項

吾川川口地区若者定住住宅予定地、池川竹ノ谷地区若者定住住宅予定地利活用に関する調査、及び池川ふれあい公園の視察。

2. 調査の経過

本町の人口減少率は高く、合併当時7千800人を数えた人口は昨年の国勢調査速報値によると5千500人ほどとなっている。

町は人口減、特に社会減をいかに少なくするかに心血を注ぎ、移住、若者定住の施策に力を入れている。

平成28年第2回定例会当初予算の中で、竹ノ谷若者定住住宅予定地取り付け道路予算についての質問に対し、若者定住住宅（以後、当計画という）の全体計画が策定されておらず、執行部の説明に一貫性がなく、曖昧な説明に終始、全体計画を確認できなかった。

町有財産の利活用の観点から、当委員会に対し

審査が必要との提案があり、平成28年4月26日（火）に開催した当委員会で、現地視察をし、町有財産有効活用の方角性を見出すため、調査研究をすると決定した。

3. 調査日

平成28年5月18日（水）午後2時から午後5時まで。

4. 出席委員

竹本委員長、藤崎副委員長、西森久雄委員、若藤委員、片岡政徳委員、西森常晴委員。

5. 調査結果、概要

当計画は、平成25年第2回定例会（平成25年6月11日開会）に調査費が計上され、同年第5回定例会（同年9月10日開会）（以後、当定例会という）において、測量設計委託料、土地購入予算が

提案、可決されている。

当定例会の質疑の中で、当時の池川地域振興課長は、「今回買収させていただいた土地を宅地の形状として整備してですね、後はそちらを購入していただいた方が自分の裁量で自分の好きな家を建てていただくというように考えております。（原文のまま）」と答弁している。

現在、仁淀川町への移住者は27年度末現在76人（Iターン、Uターン含む）の方が移住をされ、一方、考え方の違いや、地域文化になじめず、転出された方々もあり、移住、若者定住の施策の難しさも現実の問題となっている。

6. 委員会の意見

町長は議会に政策などを提案するときは、政策などの発生源、検討した政策案などの内容、まちづくり計画における根拠、または位置付け、政策などの実施に関わる財源措置、将来にわたる政策などのコスト計算などを勘案して提案すべきで

あり、当計画はあまりにもずさんな計画だと言わざるを得ない。

竹ノ谷2工区について、購入全面積に対し、有効面積の割合が少なすぎるとの意見があったことを付記する。

当委員会としては、町が進める移住促進、若者定住施策に異を唱えるものでなく、仁淀川町発展のため、町民とともに進めていくべき施策と認識している。

今後、政策などの提案は、最小のコストで最大の効果が得られるよう政策決定過程において最大限の努力を求める。

川口地区若者定住住宅予定地の計画はおおむね良好とする。現農道への接続は地域住民との意見交換を積極的に行い、土地の最大限活用に努めること。

一方、竹ノ谷地区若者定住住宅は、平成25年に計画され、土地の購



竹ノ谷地区若者定住住宅予定地（2工区）



川口地区若者定住住宅予定地

入をしているが、現在に至るまで具体的な進展は見られない。喫緊の課題である、人口減、特に社会減をいかに食い止めるか執行部、議会共に真剣に取り組む必要があると考え左記の提案をする。

記

当計画の実施計画を早急に策定し、事業展開をすること。ただし、事業展開には次の事項に配慮し行うこと。

- ① 真に若者が定住しようとする、魅力のある計画とすること。
- ② 計画策定に当たっては、地域住民の声を聞き策定すること。
- ③ 従来の考え方にとらわれず、新しい考え方で計画の策定に当たること。
- ④ 購入した土地を最大限活用する計画とすること。
- ⑤ 経費はなるべく抑えること。

一般質問 (6月定例会)

- 県開発への本町参画状況・光ファイバー網:
- 農村対策整備事業・地震と空き家対策:

ほか8人が質問!

県開発にかかる
仁淀川町の参画状況

答 強力に要請

問 片岡智準議員

最初に熊本地震で亡くなりになられました方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災

された皆さま方の1日も早い復興と、日常生活に戻れますようご祈念申し上げます。

県開発に関連して本町の参画状況を聞く。

県では、観光客の利用促進あるいは県内移住を目的として、各種取り組みがされ、中でも県東部・西部開発は国を巻き込み積極的。

このたび「四国新幹線誘致」構想が出され、知事らによるシンポジウムを開催。県の活性化に努力が見える。本町は高知県北西部に位置しているが、県・国の構想に入ってくるのか。

現在進められている高速道路は海岸沿いで、本町におよそ縁がない状況。

そこで本町としては、県・国の進める施策の恩恵がない以上、代替として「何を望み・要望」しているのか、全く参画していないのか聞く。

答 町長

県開発に関連する、町の参画状況はある。今、県は産業振興計画を立て、観光産業の振興、移住促進に力を入れ、特に平成22年「龍馬伝」を機に「花・人・土佐出会い博」などに取り組み、町も参画している。

また、地域の歴史や食、自然資源それぞれの地域特色の地域観光を目指し、平成25年幡多博や東部博、また今年は奥四万十博、来年は大政奉還150年、翌年の明治維新150年を意義深い年と捉え「志国高知幕末維新博」が計画されている。

当町は仁淀ブルーを地域観光の活性化に生かすため、平成22年11月流域6市町村で結成の協議会を発展的に解消し「社団法人仁淀ブルー観光協議会」を設立、周遊コースなどの整備を行う。



矢筈トンネル

地方創生の重要な役割を担う道路などの社会基盤整備を進める。また、遅れている四国8の字ネットワークの促進を強く要望していく。四国新幹線誘致も四国四県が連携し、町村会も対応を考えている。

特に本町を東西に走る国道33号は高知・愛媛にとっても重要で命の道。通行止めもあり強力に要請したい。今年3月には

高知西バイパスの供用開始や越知道路、橘防災トンネルも着手。合わせて越知から当町に向けての高規格道路の整備など重要で強力に要請していく。

そのほか、国道494号、中津公園線、安居公園線、いの仁淀線も大型バスが通れないことから整備を要請し、地域の活性化につなげたい。

問

片岡(智)議員

すべてが確かに重要、今後も強力に進めてほしい。しかし、それで過疎少子化の歯止め、移住促進になるか、アピールが足りない。

答

町長

須崎、梶原、津野、久万高原町とスクラムを組み、高知中央ルートとしての位置付けを明確にして、高知県山間部地域活性には不可欠であることを訴えていただきたい。

それは、すでに取り組んでいる。確かに439(予算食う)など言われているが、徳島から四万十市

を結ぶこの国道は重要で沿線10市町村がスクラムを組み国・県に要望している。

併せて津野町とも連携し、今言われた新矢筈トンネルの実現に向け、常に要望している。

南海トラフ地震を考えた場合、重要で県も認めている。予算が落ち込み、公共事業もより厳しいが、1日も早く整うよう努力する。

問

片岡(智)議員

答弁の件、情報としてなく承知してなかった。道路整備には利害が絡み難しい点があると思う。今後は可能な範囲で、町民に知る機会を与えてほしい。

答

町長

全町民対象は難しいと思うが、議会の中で話していく。

「ゆの森」の早朝サービス

(答)当面シルバーサービス

問

片岡(智)議員

須崎の「そうだ山温泉」は早朝サービスが好評と聞く。「ゆの森」はできないか。

本町も高齢化が進み大半が年金暮らし、早寝・早起きの生活リズム。また、コミュニティの場となる。積極的な検討を。

答

副町長

須崎の「そうだ山温泉」は朝9時から夕方9時まで、料金は700円で朝風呂は480円に設定。

「ゆの森」は11時から夜9時まで。料金は650円。サービスを提供する場合、宿泊客への影響、浴場は毎日9時から清掃しており時間の確保、スタッフの追加によるコストを検討する必要がある。

中でも宿泊客からは、

日帰り客の混入入浴に不満の声も聞き、宿泊サービスの質の低下ともなるなど課題が多い。

ただ、4月から高齢者が気軽に利用できるサービスを導入。毎週土曜日300円で入浴できるシルバードイ(65歳以上の方)を設け好評を得ている。

今後もシルバードイを通じ、サービス・質とも高めたい。

問

片岡(智)議員

宿泊客にすればせっかく仁淀川町に来て、不愉快な思いをされるのも気の毒。

確かに、清掃の問題、コストの問題もあり、現在のシルバードイを1日増やすなど、地元も喜ぶ施設としてほしい。

答

副町長

地元住民の方の思い、宿泊客の思いなどバランスをとり最適化の形で経営を考えていきたい。



ゆの森温泉



「仁淀川のよさ」



私が感じた仁淀川町の素晴らしいところはまず自然が豊かなところ。たくさん木に囲まれているからこそできる林業や、おいしいお茶で作るお菓子などこの町ならではの特色があります。春は綺麗な桜を見ながら食事は雪と触れ合えたりと、観光をいつでも楽しむことができます。

それと、地域の人がいっぱい親切です。すれ違ったときに挨拶をし合えたり、ときには「おかえり」と言ってくれて、とてもうれしいです。道を尋ねられると、誰でも丁寧に答えてくれるところがいいです。

仁淀川町の素晴らしいところはまだまだありますが、これからもたくさん見つけていきます。そして、ここで生まれ育ったことに感謝しながら生きていきたいです。

池川中学校3年 岡林 加津子



池川茶園 (茶畑プリン)



桜地区の桜

出身者の講演を



〔答〕 交流の場で話す

本町出身者の講演を本町で

問 片岡政徳議員

全国各地に仁淀川町出身者がおられ、それぞれの立場で活躍されている方が多くいると思われる。出身者の講演会を本町で開催し、交流会も開き、本町の観光につなげる計画を図ってはどうか。

答 町長

各方面で活躍の出身者に依頼し、成功事例や本町への思い、課題など講演していただき、交流の場を設け情報交換を行い、町を再発見し、まちづくりに活かせればと考える。

光ファイバー通信ケーブルについて

問 片岡(政)議員

平成28年度から32年度の仁淀川町過疎地域自立促進計画に、光ファイバーケーブル整備が急務と位置付けた計画がある。

答 町長

全域に光ファイバー設置は、約10億円となる。そこで、昨年度から地域を限定し、見積もりを依頼している。

公設と民設があるが、29年度に民設で地域を絞り、光ファイバー通信ケーブルの計画を策定する。整備計画は1年間であるが、予算の都合で2年間も考える。

両支所、地域の把握について

問 片岡(政)議員

町長、副町長は定期的に仁淀支所、池川支所の地域を巡回し、現状を把握して、支所運営の改善、向上と地域の生活環境の整備などの施策を図ってはどうか。

答 町長

職場の状況、地域の把握

握は行政の執行には基本と認識している。

幹部会、両支所での会議などに出向き、町内各地の催し、事業への参加を心掛け支所、地域の現状把握に努めている。

事業は支所長、各所属長から職場の状況や地域の課題を聴取し把握に努め、併せ、担当職員、区長会などの情報を収集するように指示している。

定期的には難しいが、現場に向向く機会を増す。

答 副町長

各支所、地域に向向く機会を増やしていく。



〃将来について〃



僕は将来、薬剤師の仕事に就きたいと思っています。そのためには、高校や大学に行かなくてはなりません。そのときには、仁淀を離れることとなります。生まれ育った故郷を離れるのはとても悲しいことですが、夢を実現させるためにもしっかりと頑張っていきたいと思います。また仁淀に帰ってくる機会もあると思うので、そのときは家族や地域の方々に良い報告ができたら良いと思います。

仁淀で生活できていることに感謝をし、これからも勉強などを中心に頑張りたいです。

仁淀中学校3年 片岡 彩翔



片岡君が通う仁淀中学校

ふるさと納税は

〔答〕 緑と清流の再生



問 竹本文直議員
昨年度、ふるさと納税に寄付された金額、返礼品に充てられた金額、事業に支出した金額・事業名は何か。

答 町 長

「仁淀ブループロジェクト寄付金」には、平成27年度、147件、382万4千円いただき、返礼品に、172万5千933円、残りを地域環境保全基金に積み立て、「緑と清流を再生する会」へ30万円補助。

なお、地域環境保全基金は平成26年度と合わせ804万6千円。

問 竹本議員

全国からたくさんの方の寄付をいただいている。いただいた寄付金を使用しての事業内容などを町の広報誌、HPを通じて公開し感謝の気持ちを発信しては。

答 片岡総務課長

現在の事業は仁淀川の清流を守る事業に活用。今後は、仁淀川町における伝統文化の維持の部分についても進め、寄付者の意向に沿った分野に活用していく。現在は寄付者に対して情報公開をしていないが、今後、公開に向けて準備をしていく。

町長の行政姿勢

問 竹本議員

「住民から何か提案があれば行政として考える」このような姿勢だと思いが行政側から積極的に住民に働きかけ、能動的な姿勢で臨む必要がある。

答 町 長

消極的に見えるのはアピール不足、施策に派手さや奇抜さがないのが要因の一つ。

派手さや奇抜さで一時的に注目を集めても、長期にわたり効果的で持続可能な施策とはいえない。地道に取り組んでいく。職員が積極的に事業を提案していく環境を整え、併せて、各種団体などが主体的に事業を実施できるように、官民協働で、町勢の発展に取り組む。



ふるさと納税寄付金が充てられている中津川の清流

問 竹本議員

決して打ち上げ花火を求めているのではない。地道な役場側からの提案を求めている。

地域で活用できる補助金、交付金は各省庁にたくさんある。役場で制度の一覧表を作成し、地域に提案をし、申請手続きなどは「地域おこし協力隊」に担ってもらうことを考えてはどうか。

答 町 長

合併時にそのような冊子を作成していたが、10年経過したので身近な補助金制度をまとめた冊子を作り、町民の皆さんに提案、周知をしていく。

光ファイバー網について

問 竹本議員

先ほどの先輩議員への答弁で、N-TTに補助金を出し29年度に整備する方針は了解した。

しかし、移住交流拠点施設に提案されている、東大地震研究所の件については29年度では間に合わない。

わない。このチャンスに逃がさないようにほかの方策を考え、対処してはどうか。

答 町 長

地域を限定、エリアを絞り込み、見積もりを依頼中。29年度中に民設で整備する。

提案されている、東大地震研究所の件については、土佐沖で集めた津波、地殻変動のデータを全世界に向けた配信事業であると聞いており、今後の可能性を考えるとぜひ実現に向けて取り組んでいきたい。

問 竹本議員

今や、超高速ブロードバンドなしでは何事もスムーズに回らない社会。移住交流拠点施設のある場所は、県の防災マップで地盤が固いことが証明されている。

東大の防災研究チームの拠点が本町にできれば



光ファイバー未接続

答 町 長

今回提案された事業は非常に大事な事業で、本町にとって重みのある事業だと考えており、実現に向けて取り組んでいく。

国、県、企業を問わず、防災のバックアップ拠点として提案できる体制になる。将来の希望が見えるこの計画をぜひ実現するよう要望する。

高知市の整備率は40%ほどである。強度は、故意に強打しても作動しない

答 教育長

高知市での防災ボックス設置率はどれくらいか。また、震度5以上で解錠されるが、故意に叩くと解錠されるか聞く。

問 西森久雄議員

答 作動しない

防災ボックス叩くと？

地震の際 ドローンで上空から

答 国の動向注視



防災ボックス



無人航空機は航空法で制限はあるが、免許などが必要なく、事前の許可があれば誰でも飛ばすことができる。しかし、違

答 町長

大雨・大雪・地震などで、土砂災害を受けた集落が孤立した場合、ドローンで上空から調査をすれば早い対応ができるのではないかと。本庁、支所に装備できないか。

問 西森(久)議員

が、ボールなどでこじ開けることは可能である。設置する場合は検討すべき課題があると考え



←モニター

第三者の土地などへの侵入に制限があり、緊急を要する事態には道路や河川上の飛行に限定される。町としても、国の動向を注視し、検討していきたいと考える。

答 町長

27年度仁淀地区、28年度吾川地区、29年度池川地区を対象に空き家調査を実施している。

問 西森(久)議員

空き家対策について伺う。

反や事故なども多く、国では法整備を検討している。



ドローン

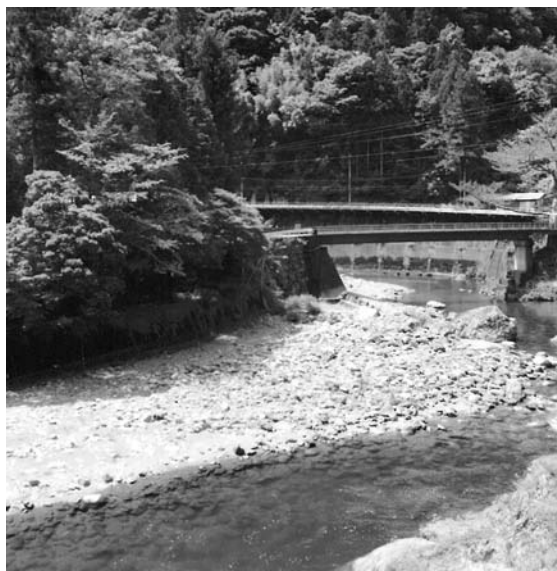
県内では黒潮町や土佐清水市などが除去などに対する補助を行っており、事業の8割補助で上限額100万円となっている。

答 町長

台風などですぐにでも倒壊しそうな空き家があるが、町から県へ要望できないか。

問 西森(久)議員

本町での空き家の管理については所有者の責任を前提に国の動向なども注視しながら、慎重に検討する。29年度の調査が終了次第、計画を策定し、補助要綱を制定したいと考える。



長者川

また、地域の人は皆、仲が良く、僕に家族のように接してくれます。だから、いつかここに帰ってきて、皆に恩返しができるようにしたいです。

仁淀中学校3年 大野 侑斗



“自慢したいこと”

僕は、将来の夢や就きたい仕事などはまだありません。でも、できればいつかこの仁淀川町に帰ってきたいと思っています。

僕の住んでいる所は形部といいますが、人も少なく、目立った所はありませんが、自慢できることはあります。それは自然です。山や川もきれいで、時々野生生物を見かけることもあります。

トマトハウス 使用料が未収

〔答〕 徴収方法検討中



問

藤村良太郎議員

平成26年度一ノ谷トマトハウス使用料未収の件について、昨年9月議会決算審査において質問をした。

そのとき、担当課長から、「6月中に納付する旨の確約書をもらっていたが、相手方と町との間において話に食い違いが生じ、いまだに納付されていない。今後は早急に相手方と話をを行い、納付してもらう」との答弁があり、副町長からも早急

に対応するとの答弁があった。

9カ月経った今も納付されていない理由は何か。9月以降相手に対してどのような連絡を何回とつたのか。そのことに對して相手からの返事は。

この件について副町長は担当課長に対して状況の確認は何回行ったのか。

答

町 長

一ノ谷トマトハウス使用料は、平成26年度分121

万1千230円、平成27年度分が60万4千514円で合計181万5千744円。期限の7月31日までに全額支払う旨の確約書をもらっていたが、7月29日になつて、賃借人から「納付は困難」との連絡があつた。

その理由は、隣接するレンタルハウスの無償使用に納付できないなどの質問状が届き、庁内で検討したが、認識や見解の相違であり、回答しない旨の連絡を取った。

10月2日に納付書を送付し、11月20日に担当職員より賃借料未納について尋ねたところ、賃借人からは、「質問状に対する回答がないので支払いはしない」との回答。

使用料未収ハウス(左)・無償レンタルハウス(右)

その後12月8日、平成28年3月31日に納付書を送付し、5月19日には担当職員が異動になつ

たためあいさつを含め納付を促す電話をしたが、「分かった」とだけで電話が切れた。

翌20日に納入通知書と確約書の写しを送つたが6月6日現在納付されていない。

答

副町長

回数は確認できないがその都度連絡は受けている。

問

藤村議員

この件については、文書や電話で解決できる問題ではない。課長が北海道まで行って話をつけてきてはどうか。

このトマトハウスと類似の施設に、一ノ谷食品加工場使用料や黒森トマトハウス施設使用がある。また、ほかにも住宅や農集、簡水などの使用料もあるが、これらを使用している方々が使用料を支払わないとなつた場合、町としてどのように対応するのか。

答

古味池川地域振興課長

レンタル料の契約及び確約書などは法的にも有

効な書類。今後は法律の専門家と相談しながら取り組む。北海道に向くのもやぶさかでない。

答

町 長

使用料を使用者が払わない場合には法的な行使をして対応する。

問

藤村議員

今までのような生ぬるいことでは納付してもら

えない。役場の顧問弁護士とも相談しながら、法的にどうしたら相手から徴収できるのか方法を探り処理してほしい。

答

町 長

期限がきたから即というのではなく、尽くせる手は尽くし積み重ねの中で顧問弁護士とも相談し時機を見て適切な対応をする。

《ドローン一ロメモ》



ホバーリング(静止)の状態

ドローンの航続距離は約1キロ、モニター(無視界飛行)飛行可能、吊り上げ重量は機種により異なる。飛行時間は一般的に20分。使用には国交省に購入申請が必要。使用目的により飛行範囲に制限。

使用方法は、始動後、レバーを倒せば上空に上がり、操作しなければ、同場所に静止(ホバーリング)レバーを左右に操作すれば同方向へ移動、また手元の操縦機のメインスイッチを切れば、発着地点に帰る機能を持っている。

一見簡単な操作方法で飛行は容易、しかし、モニター飛行(無視界飛行)は相当な訓練を要す。

購入費は、本体、カメラ、送受信機合計で45万円程度。

職員の採用は



町内居住を原則

職員採用、地元
で採用すべき

問 岡田良成議員

少子高齢化の人口減少に突入している今日、庁舎の規模、学校2校区にした問題など町民からの厳しい声がある。

過去3年間の新規職員採用者(平成26年9人、27年7人、28年6人)については、町外からの採用が多い。住所は町内で実態は町外から出勤して

いるとの話がある。地元出身者を職員採用すべきではないか。

答 町長

採用された人は、仁淀川町内に居住することを原則としている。全国統一試験による一次試験合格者に作文や面接による二次試験を実施し採用者を決定している。

問 岡田議員

仁淀川町独自の試験を行っていないのではないかと。公務員としての自覚を持ち応募される方は、職員として職務を全うする能力があると思う。町内に居住し本町に対し貢献度の高いと思う方を採用することを検討すべきではないか。

答 町長

公務員として、適性検査を行い町内に住んで頑張っていたかどうかの意思をしっかりと確かめ採用している。

問 岡田議員

南海トラフ地震が発生した場合、町民の災害対

応に應えるためにも職員住宅を建築してはどうか。

答 町長

空き家の活用など現在ある住宅の活用を検討する。

職員数多すぎる

問 岡田議員

町内人口は国勢調査で5千543人、職員数158人。越知町5千797人、職員数108人。職員数が多いと思うが。

答 町長

32年の4月までに職員数17人削減計画があるが、引き続き削減に取り組む必要がある。32年には合併特例債も終わりで、完全に一つの町として自立をしなければならぬ。

仁淀支所の建築

問 岡田議員

人口減少、職員数(久万高原町は美川支所、面

河支所、柳谷支所各支所とも4人の職員)について、町長は将来に対し、責任を持った支所規模を考えるべきだ。

答 町長

規模については、調査検討委員会や周辺地区の方々の意見検討を重ね、今後、職員減に伴うスペースの活用、防災時避難場所、町民のための利用を考えている。

入札制度

問 岡田議員

7月から一般競争入札導入とのことだが、入札制度の内容は。

答 町長

一般競争入札を導入するにあたり、国、県の指導を踏まえ、公平・公正・透明性の高い入札制度を導入。原則予定価格2千500万円以上の工事などとする。

ごみ収集の件

問 岡田議員

町民からごみの収集について質問状が提出されたが内容は。

今回の落札業者は、品原建設、大一林組、吾川清掃の3社。

吾川清掃の代表者は5月末日まで仁淀川清掃の職員であったが、吾川清掃の会社を立ち上げ、予定価格の85%で入札し、結果はくじ引きで落札している。

答 片岡総務課長

入札参加者についての質問状に答える。「収集運搬事業には、仕様書に作業員の人数が2人に規定されている。1人で作業した場合は減額されるのか」という質問であるが、不慮の事故や、体調不良で当日1人になると考えられる場合は減額は考えていない。

大一林組、品原建設の両会社は一般廃棄物業務の資格の届け出がある。吾川清掃は一般廃棄物処

理運搬業務経験者で新しい事業所の届け出がある。

問 岡田議員

入札も終わっていることなので、今後は町民から不審を買うような入札は一切してもらっては困るという苦言をさせていただき終わりとする。

旧町村意識解消

問 岡田議員

仁淀川町が一つになることを行政の指導者として政治生命をかけて推進すべきだと思う。

答 町長

町が誕生して10年を過ぎた。町民が一体感を持ち、旧町村境界線を超えて、力を合わせて地域を守り、合併の目的を忘れることなく誠実に取り組み、着実に目標を達成したい。

実績を1件だけ問う

問 岡田議員

町長は町民に対し胸を張れる実績を残しておると思うが問う。

答 町長

さまざまな分野に注力した中でも、ライフラインなどの基盤設備を挙げたい。普通建設事業費は予算に対しては23・7%の137億円と高知県全市町村の普通建設事業費割合16%を上回っている。財政の健全性も維持している。

問 岡田議員

1年で町長選だが、町民の幸せのために勇気を持って積極的な行政を推進し、次期からも厚い支持を受けるよう頑張っていたきたい。

答 町長

次の10年に向けてスタートしたところで、町の将来にとって大変重要な時期であり、まずは残された任期をしっかり取り組み。

高吾北広域町村事務組合報告

平成28年6月1日（第2回定例会）

一般質問

「意見交換会の開催を」

問 片岡智準議員

高吾北広域事務組合には多くの部署があり、所長とは懸念事項なども話す。しかし、そこ（部署）で働く方とはほとんど話す機会もない。

最近、新聞雑誌で一番気になる記事は「人手不足」の記事。特に公共事業関係従事者の職場離れ（退職）には注目している。

記事によると職場環境や給与面など書かれ、職種により事情はそれぞれ違う。提案したいことは、当事務組合で働く、正職・臨時を問わず、全部署の職員数人と議員・事務局出席による意見交換会を開催し、各部署で抱える課題や今後進めていくべき施策など、高吾北関係者全員が共通の認識を共有し、人手不足対

策をはじめ将来起こりうる事象に対応すべきと考えるが、組合長（事務局）の意見を聞きたい。

答 事務局長

介護職員不足は全国的な傾向。要因は、介護度の重度化による介護職員の負担増、交代制勤務体制などであり、臨時の介護職員の応募者がいないことから、人員不足の解決は困難な状況にある。

こうした課題以外については、施設の各職員による会を開催し連絡体制を構築している。議員提案の意見交換会については、議員の皆さんとも協議させていただき検討したい。

問 片岡智準議員

高吾北広域事務組合には議会前の協議会がなく、皆さんのご意見を聞く機会がなく、このたびの議会発言となったもの。

事務局長の説明で理解でき、今後よりいい方向を模索されたい。

議案案件

- 一 工事請負契約の締結
焼却灰ストックヤード新築工事
- 二 売買契約の締結
高吾北清掃センター指定ごみ袋
- 三 売買契約の締結
高規格救急自動車・高度救命処置用資器材
全案 全員賛成



高吾北広域事務組合庁舎



「仁淀川町の良い所」



僕がこの仁淀川町が良いと思った所は、地域の皆さまが優しいところなんです。いろいろな行事が学校でありますが、ほとんどの地域の皆さんが手伝ってくれます。

僕は、うれしいという気持ちと感謝の気持ちで、心がいっぱいになります。

ほかにも、仁淀川町には、神楽や秋葉祭りなど地域の文化や伝統が、今でも行われています。県外の人や、外国からも来てくださっていますが、もっと多くの人に、この伝統的なおどりなどを間近で見たいです。

僕は、少しでも地域の村おこしができたらいいと思っています。だから大人になったら、この仁淀川町に感謝を込めて、恩返しをしたいです。

池川中学校3年 大崎 智博
おおさき ちひろ



秋葉祭り「練り」と観衆

仁淀川町全域の 道路の除草は



答 民間に委託

問 仁淀川町全域国道・県道、町・農・林道など除草維持管理の状況を聞く

問 野村安夫議員

国道3路線、県道、町道、農道、林道の維持管理、点検確認などは十分されているのか。予算不足、人手不足ということはないか、実施状況を聞く。

答 町長

道路全域、除草などの維持管理は、ほとんど民間に委託、年2回程度実施、機能保全は保たれていると思う。

予算または人員の件は、公共事業の予算獲得は厳しく、人手不足も進み大変な状況であるが効率的な維持管理に努める。

答 片岡産業建設課長

過去の実績などを基に毎年予算を計上している。

また、維持管理などに道路作業員を全地区で25人雇用しているが人員の確保には苦労している。

問 野村議員

坂本地区の草刈りなどを業者が実施していたが、地区の要望なのか。

また、鹿森長屋線の深い側溝に蓋をするよう地元から要望があったと思うが、桜の咲く時期の混雑解消や事故防止のため実施しては。

6月3日、国道494号整備促進期成同盟会が開催

されているが話の内容は。当路線の拡幅工事、危険箇所早期着工の見込みは。

答 古味池川地域振興課長

坂本線の除草などについては入札、仁淀川町除草、町道除草の2地区は、委託業務として発注した。

答 片岡産業建設課長

鹿森長屋線の件は、危険箇所から重点的に実施していく。

答 町長

総会では、今後引き続き494号の重要性をアピールし関係機関に要望していく。

佐川・須崎間改良はもとより、仁淀川町の池川土居から県境にかけては、土居地区から大西工区をさがけにし、予算を要望する。

コラム

(1) 〃石垣トマトハウス 第3弾〃

議会だより第39・40号で連続に紹介した、仁淀川町大植にある石垣トマトハウス(野々宮益輝代表)に1年ぶりに取材に行きました。

ビックリです！ わずか1年で大植及び太郎田地区に、ミニ石垣ハウス5棟(写真下参照)と一反ハウス1棟(写真上)が建設されていました。

ミニハウスは約15坪から30坪で高齢者でも手がけられる広さ。

うち奥乃里地区では野々宮輝雄さん(75歳)がすでにトマト栽培をされており、今年の収穫期のトマトを1個いただき、食べたところ糖度も10度前後で果物並み、さらに酸味がマッチ、野々宮益輝さんのトマトとも遜色なく、まさに絶品。また別のハウスでは

松原美千代さん(63歳)は夏季利用でメロン、スイカを栽培、結果が楽しみ。(写真中)

なぜ、石垣トマトがおいしいかの理由は分かりません。しかし、石垣ならではの理由があると思います。

野々宮さんの夢は、この試みの特許化を断念(石垣トマト名はブランド登録)し、仁淀川町全体に広がり、またこの石垣ハウスの効果が、ほかの野菜や果物にも広がり、さらには仁淀川町の高齢者が互いに気軽に助け合い、トマトハウスを運営して、高齢者の憩いの場(コミュニティシヨンの場)となることに期待している。

「大きな目標も小さな一歩から益輝」
片岡智準議員



一反ハウス(植栽前)



メロンハウス



奥乃里ハウス

農村対策整備事業について



【答】 町単独・県への要望

吾川地区農村対策整備事業について

【問】 藤崎源彦議員

平成21年度に、高知県農業振興部中央西農業振興センターが調査・計画した吾川地区農村対策整備事業（県営）の5工区は、工事が行われなかった場所がある。場所によつては、現在でも工事を望む声がある。この現状をどのように受け止めているか。ま

た、高知県への対応は。

【答】 町長

藤ノ野桜工区は、工事用地などの問題と砂防施設との関係でできなかった箇所がある。このうち緊急避難路整備は、町単独工事として道路改良で進める計画で、一部発注済み。また、そのほかについても、農業振興部所管事業以外の多方面から県に要望していく。

大板工区の農道は、平成21年に民主党政権になり、予算が大幅に減額されて県営での農道整備ができなくなった。町単独工事で進めているが、国道33号の迂回路として県への要望もしている。

大板工区の農道は、平成21年に民主党政権になり、予算が大幅に減額されて県営での農道整備ができなくなった。町単独工事で進めているが、国道33号の迂回路として県への要望もしている。



中断している大板工区

そのほかの工区についても、地滑り防止対策工事など、早期整備を要望しているが予算が厳しいのが現状。今後とも精いっぱい要望していく。

【答】 片岡産業建設課長

農業関係の県営工事の場合、工事用地の登記が前提条件だが、相続などによって所有権移転までの登記が期限内にできない場所があった。

また、計画段階で水路などが砂防指定地内にあることが判明してできなかった箇所もある。砂防指定地内は、土木管轄になるので、県に砂防での要望をしている。

大崎診療所及び保健センターについて

【問】 藤崎議員

大崎診療所の建物は、築40年近くで老朽化が進み、耐震化もされてない。合併特例債があるうちに、建て替えては。

【答】 町長

平成20年度に実施した

耐震診断の結果、基準を満たしていないことが判明。

来年には厚生労働省で定めた、補助事業などにより取得した財産の処分制限期間を超過する。

建て替えるは、現施設の改修、新設、他施設の改修利用など、多方面から検討する。

時期は、平成30年以降に着工し、合併特例債のある平成32年度までに整備を完了したい。

【問】 藤崎議員

リハビリテーション（以下リハと略称）科は、施設内での治療以外に、在宅者の訪問リハを行うなど患者の肉体的・精神的回復に重要な役割を担う。

充実のため、理学療法士の増員や、古い医療機器などの入れ替えが必要ではないか。

【答】 町長

昨年度のリハ患者数は、1日当たり13人。職員体制は、常勤1人、非常勤1人、委託契約者1人の計3人の理学療法

士。ただし、産休により実質2人で対応した。

古い医療機器の入れ替えは、今年4月に2台行った。

訪問リハ利用者数は、町内全体で約20人、うち4人が大崎診療所、ほかは町外の民間医療機関を利用している。

今年のリハ患者数は若干増加傾向にあり、医療ニーズの動向や患者数を見極めながら新規理学療法士の雇用を検討する。

【問】 藤崎議員

本庁舎が完成し、保健福祉課が移った後、保健センターの機能はどうなるのか。

【答】 町長

本庁舎の完成後、保健福祉課、包括介護支援センター職員が本庁舎に移り、関係課の職員が常駐しないことになる。大崎診療所の建て替えと併せて検討する。

【問】 藤崎議員

今後の医師確保は大丈夫か。沖先生の

出身である自治医科大学との関係を深めては。

【答】 町長

医師確保は、へき地医療の協議会をつくって対応しており、県内で診療所のある町村が連携して県と一緒に取り組んでいるが、厳しい状況。

県が就学の費用を貸与している自治医科大学の卒業生は、9年間の義務年限を超えるとへき地勤務免除になる。

診療所には多くの研修医が来ており、地域の現状を話して交流を行い、目を向けてもらえるように取り組んでいる。



保健センター



承認・可決(否決)された議案

— 第3回 (6月) 定例会 —

○専決処分の報告

■平成27年度 林道災害復旧事業林道上名・用居線(梅雨前線豪雨災害(6・30～7・1)・1号箇所)(27年発生) 災害復旧工事

契約金額

400万5千720円増額し、8千349万1千560円とする。

契約の相手方

株式会社 大一林組

(報告のみ)

■仁淀川町職員の退職管理に関する条例

(承認 全員)

■仁淀川町税条例の一部を改正する条例

法人住民税の法人税割の税率引き下げなど。

(承認 全員)

■仁淀川町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

(承認 全員)

■仁淀川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

(承認 全員)

■仁淀川町消防団員の定員、任免、給与、勤務等に関する条例の一部を改正する条例

分団統合に伴い、分団長の職位から降格となる場合、統合の日から起算して1年間は分団長の職位とみなすもの。

(承認 全員)

○補正予算

■平成27年度仁淀川町一般会計補正予算(第9号)

1千529万1千円を減額し、81億6千618万1千円とする。

問 若藤議員

名野川簡易水道は、工事の途中で350万円の補正を組み、減菌器をつける必要がなぜ生じたのか。



答 坪内町民課長

中央西保健所から消毒施設を複数設けるよう指示があったため。

町内の簡易水道施設(以下、簡水)8カ所も設置を検討、経費を試算中。

問 藤村議員

現在ある簡水の建物内に2台の減菌器を設置できるのか。

答 坪内町民課長

まだ、どのような形になるのか決定していない。

問 片岡(智)議員

すべての分野において減額補正となっているがなぜか。



答 片岡総務課長

事業費の確定に合わせて、補助金の減額の変更を行っている。

(承認 全員)

■平成27年度仁淀川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

64万8千円を追加し、1億2千19万3千円とする。

(承認 全員)

■平成27年度仁淀川町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

350万円を追加し、1億8千47万1千円とする。

(承認 全員)

■平成27年度仁淀川町繰越明許費繰越計算書の報告について

問 片岡(智)議員

繰越が多くなっている理由は。

答 片岡総務課長

地方創生の加速化交付金など3月補正で予算が付いたが、事業自体は27年度に間に合わないため、28年度に行うものなどが繰り越されている。

(報告のみ)

○平成28年度補正予算

■平成28年度仁淀川町一般会計補正予算(第1号)について

仁淀総合支所新庁舎建設予定地の造成費1千万円など1千50万9千円を追加し、74億3千739万5千円とする。

問 竹本議員

町産材の家推進事業費は当初予算から三月も経たないうちに500万円の補正が上がっている。仁淀支所造成など、当初予算を出す際にもう少し厳しく根拠を精査して出してくるべき。

訴訟費が計上されているが、最初の段階で訴訟を止めることができなかったのか、執行部に重

大な責任がある。
訴えを起こされている
方を社協の事務局長にお
願いしたということは認
めるのか。



答 古味企画課長

町産材の家は、当初予
算1千万円で組んでいた
が、現在で97万5千円の
予約が入っている。



答 吉田仁淀総合支所長

仁淀支所の造成は、測
量設計をし、今、設計書
ができています。
補正予算は、設計金額
より多少上乘せをしてい
る。

答 町長

当初予算の査定はきつ
ちり行っているが、12月

ごろに行うため、その時
点の金額となる。
社協の事務局長を決め
たのは社協で、町が決め
たのではない。

答 副町長

社協の理事会の中で、
この方を局長にお願いし
たいという意向があつ
た。

問 片岡(智)議員

仁淀支所の庁舎検討委
員会と、本庁の庁舎検討
委員会は異なるメンバ
ーなのか。

答 吉田仁淀支所長

仁淀支所庁舎検討委員
会の委員は、仁淀地区各
地域長7人と、商工会、
JA、町職員で構成され
ており、本庁舎検討委員
会のメンバーと1人重複
している。

問 若藤議員

地方創生ということ
で、予算が付いている
が、地元には関係のない
町外の大手専門業者にば
かり委託をし、地元に関
映されていないのではな
いか。もっと、地元が潤

うような地方創生事業
を。
具体的に地元の業者、
人間に貢献している事業
は。事業費の総額は。

答 古味企画課長

創業支援事業で町内に
二つの会社が起ちあがつ
ている。
また、林産協同組合を
窓口とした林業研修制度
の実施、ビバ沢渡のカ
フェ、石垣ハウスを活用
した地域活性化事業など
実施している。

事業費は、合計で7千
35万2千円となってい
る。

答 町長

地方創生事業について
は、ソフト事業が大半
で、地元業者が請け負え
るものが少ない。
ハード、ソフト両面で
自由度の高い事業にと国
へ要望している。

問 片岡(政)議員

消防費の内、報酬費、
委託料の詳しい説明を。

答 片岡総務課長
応急期機能配置計画、
避難所運営マニュアル策
定の委託業務と、熊本地
震の影響で業務継続計画
の策定も急がれており、
関連している三つを一緒
に計上した。

問 藤村議員

宮ヶ坪住宅の雨樋の改
修は大雪の影響と思われ
るが、今後は、雪止めの
瓦などを検討しては。



答 片岡明徳仁淀住民福祉課長

今後、住宅修繕などあ
れば検討していく。
(可決 全員)

○その他

町道の認定について
(可決 全員)



(2)

紹介 仁淀川町身体障害者会



「しもの郷」で開催された総会

仁淀川町には、障が
い者の集まりがありま
す。ご存じですか。
障がいがあっても、
社会に出て活動し、お
互いの思いを語り、励
まし合い、親睦を深め
ています。

全国には同じ境遇の
人たちの集まりもあ
り、相互の交流を深め
る研修旅行なども行っ
ております。

本町には身体障害者
手帳をお持ちの方が600
人います。しかし、本
会には二十数人の方の
参加となっています。
このたび、来賓に、



平成28年度
仁淀川町身体障害者会総会

仁淀川町身体障害者会

副町長、議会議長、社会福祉協議会会長を迎え、年に
一度の総会を「しもの郷」で行い、皆で一緒に考え、
人生を楽しくする目標などを話し合い、活動計画を決
め、和気あいあいの中、お開きとなりました。

今年は、新会員3人が参加され賑やかな会でした。
障がいをお持ちの方の参加を待っています。

竹本文直議員

◆連絡先

事務局(社会福祉協議会内)

☎0889-32-2238



収穫を迎える 一反石垣トマトハウス



昼夜の寒暖を利用した石垣トマトの状況

日 記 帳

8月		5月	
13日	定例議会 池川・仁淀中学校卒業式	10日	国道33号整備促進期成同盟会高知県協議会総会(いの町)
23日	池川・大崎・長者・別府小学校卒業式 池川保育園卒園式 議会だより特別委員会	13日	国道439号整備促進期成同盟会総会(高知市)
26日	議会だより特別委員会	16日	道路整備促進期成同盟会(高知市)
28日	池川木材工業新工場落成式 春季戦没者追悼(池川)	18日	総務教育民生常任委員会
5日	吾川郡町村議会議長会定期総会(いの町) 春季戦没者追悼(仁淀)	23日	高吾北地区地域安全協会役員会及び総会
8日	吾川郡町村議会議長会定期総会(いの町) 春季戦没者追悼(仁淀)	24日	高瀬地区直轄地すべり対策事業推進協議会総会
10日	中津観光開き 春季戦没者追悼式(吾川)	27日	国道33号整備促進期成同盟会
15日	議会だより特別委員会	30日	第41回全国町村議会議長・副議長研修会(東京都)
18日	吾川郡町村議会議長会 吾川郡町村議会議長会県外研修(鳥取県、島根県)	31日	国道494号整備促進期成同盟会総会(須崎市)
20日	吾川郡町村議会議長会	7日	議会運営委員会
22日	吾川郡町村議会議長会	3日	国道494号整備促進期成同盟会総会

議長(ロメモ)!

地方政府にふさわしいレベルを目指して
 2000年の分権改革で日本の自治体は、法制度上は地方政府という位置付けになりました。
 今回、議員の発案で、議会基本条例の勉強を全員で始めることとなり、1回目は、6月定例会中、議運の5人のメンバーが講師となり、2006年日本で最初に制定した、北海道栗山町議会の議会基本条例の勉強会を行いました。
 また、6月28日から29日には議会運営委員会行政視察研修として、鳥取県日南町・大山町に出向き、議会基本条例制定までの経緯や制定後の議会活動について意見交換を行ってきました。
 安易な俗論に陥らないよう、もう一步高いレベルで、首長と議論できる議会を目指しての一步です。

議長 西森常晴

編集後記

議会の花形といえば「一般質問」ですが、「一般質問」は「通告制」(あらかじめどのような質問を誰にするか知らせておくこと)を取っており、執行部は「答弁」を準備しています。

しかし、私が原稿を担当するQ&A「議案の審議」では、どのような質疑が、誰にされるか分からないため、議会が一気に緊張感に包まれます。

紙面では2、3行の内容ですが、実際は、その10倍以上、夏の暑さにも負けない、熱い質疑をされていますので、ぜひ、議会の傍聴において体感してください。

また、この場をお借りしまして、町民の皆さんから、議会前にお花をいただき、議場に飾らせていただいておりますことお礼申し上げます。

暑い日が続きますので、水分を十分に取り、熱中症に気をつけ、元気に夏をお過ごしください。

議会事務局

書記 山諸 彩